

科目名	ホテル産業演習 I						
科目名(英)	Hotel Industry Seminar I						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	佐藤 俊子		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	ホテルでの従業員トレーニングを担当		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	前期授業とホテル実習で学んだ業界知識を基に、国内はもちろん海外ホテルからの視点も含めてホテル業界全体を考える。また、演習(パソコンを使って情報を収集、分析そして予想)することで自主的に先を見る目を養う。自身が希望とするホテル選びや方向性決めに活用することができるようになり、今後の就職活動を円滑に進められることを目的とする。						
授業形態	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				テーマパークのホテルを知る上で大切なテーマパーク自体を理解することができる。	
		○				日本を代表するホテルの特徴や販売促進の特徴を理解することができる。	
		○				国内系のホテルと外資系のホテルの特徴やその違いを具体的に理解することができる。	
		○				シティホテルとリゾートホテルの違いを具体的に理解し、集客の方法も併せて知ることができる。	
テキスト・教材 参考図書	レジメ(配布プリント)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	後期の授業の進め方、最近のホテル業界の動きを知る①				レジメを読んで復習すること	
	2	最近のホテル業界の動きを知る②				レジメを読んで復習すること	
	3	東京ディズニーリゾートについて知る				レジメを読んで復習すること	
	4	ユニバーサルスタジオジャパンとそのホテルについて知る				レジメを読んで復習すること	
	5	ハウステンボスなどの九州のテーマパークとそのホテルについて知る				レジメを読んで復習すること	
	6	海外のホテルを知る(ハワイ/大型海浜リゾートの代表)①				レジメを読んで復習すること	
	7	海外のホテルを知る(ハワイ/大型海浜リゾートの代表)②				レジメを読んで復習すること	
	8	海外のホテルを知る(パリ/スモールゴージャスの代表)①				レジメを読んで復習すること	
	9	海外のホテルを知る(パリ/スモールゴージャスの代表)②				レジメを読んで復習すること	
	10	海外のホテルを知る(ラスベガスとIR戦略)①				レジメを読んで復習すること	
	11	海外のホテルを知る(ラスベガスとIR戦略)②				レジメを読んで復習すること	
	12	インバウンドについて知る(文化と習慣、食事)①				レジメを読んで復習すること	
	13	インバウンドについて知る(文化と習慣、食事)②				レジメを読んで復習すること	
	14	プレゼンの効果的な方法、道具、しゃべり方を学ぶ				最終コマの課題準備を行うこと	
	15	課題発表を行い、各自の強みを知り自身に生かす				課題の発表準備をしておくこと	
評価方法	(1)小テストを実施する(2)授業内で期末テストを実施する(3)レポートの提出状況(4)課題発表以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎					20%
	授業内期末テスト	◎					30%
	レポート提出状況		◎				40%
課題発表		○		○		10%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	レストランサービス演習						
科目名(英)	Restaurant Service Practice						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	木村 匡志		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	外資系ホテルにて、 料飲部門スタッフとして勤務		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	ホテル業界で活躍する能力を身に付けるにあたり、ホテルにおける料飲部門にて必要な高いレベルでの技術を習得する必要がある。この授業では、料飲部門の中でも特にレストラン部門で必要とされるサービス方法や接客の考え方についてを深く学び、実践できるようになることを目指す。						
授業形態	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				料理や飲料の専門知識を学び、レポートとしてまとめることができる。	
			○			レストランサービス一連の流れを理解し、正確に実践することができる。	
		○				レストランサービス一連の流れを規定の時間内に完了させ、実技試験で合格点を取ることができる。	
テキスト・教材 参考図書	配布プリント、基礎からわかるレストランサービススタンダードマニュアル						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	実習振り返り、レポート課題について、ワインの知識			授業内容を復習しておくこと		
	2	シャンパンの知識、レポート作成・提出			授業内容を復習しておくこと		
	3	ワインの抜栓			授業内容を復習しておくこと		
	4	復習テスト①、ワインサービス(量を揃える)			授業内容を復習しておくこと		
	5	料理の知識①、レポート作成・提出			授業内容を復習しておくこと		
	6	料理の知識②、レポート作成・提出			授業内容を復習しておくこと		
	7	実技試験概要説明、A・Bパート練習			A・Bパート項目を復習しておくこと		
	8	レストランサービス実技試験C・Dパート練習			C・Dパート項目を復習しておくこと		
	9	レストランサービス実技試験E・Fパート練習			E・Fパート項目を復習しておくこと		
	10	レストランサービス実技試験通し練習			実技試験に向けて練習を重ねること		
	11	レストランサービス実技試験通し練習			実技試験に向けて練習を重ねること		
	12	レストランサービス実技試験通し練習			実技試験に向けて練習を重ねること		
	13	レストランサービス実技試験			実技試験に向けて練習を重ねること		
	14	レストランサービス実技試験			実技試験に向けて練習を重ねること		
15	レストランサービス実技試験、復習テスト②③、授業総括			実技試験に向けて練習を重ねること			
評価方法	(1)レストランサービス実技試験(2)復習テスト(3)レポート課題(4)受講する上での持参物(料飲実習服やスーツ、プリント)および意欲(出席回数) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レストランサービス実技試験			◎	○		40%
	復習テスト	◎					20%
	レポート課題	○	◎				20%
持参物および意欲				◎		20%	
履修上の注意	授業を受講する際はスーツ、料飲実習服を着用すること。 授業欠課が6回以上になった場合は単位を与えない。						

科目名	宴会理論						
科目名(英)	Banquet Theory						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	一岡 浩己		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	外資系ホテル13年勤務		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	ホテル業界で活躍する能力を身に付けるにあたり、ホテルにおける宴会部門にて必要な専門知識を習得する必要がある。この授業では、主に宴会の概要・種類・形式・サービス・予約・営業を学習し知識を習得する。						
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ホテルで行われる宴会の概要を答えることができる。	
	○					宴会サービスセクションについて答えることができる。	
	○					宴会予約・営業セクションの業務について答えることができる。	
	○					宴会・会議等のスタイル別種類と概要を答えることができる。	
○					宴会備品・用語を答えることができる		
テキスト・教材 参考図書	宴会管理論 小野田正美 著 株式会社 マーケティング オフィス						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	項目:ホテルで行われる宴会の概要① 内容:定義・宴会市場の現状・商品の全体像について			教科書の該当範囲を読み、 わからない用語を調べる。		
	2	項目:宴会や会議の種類と概要① 内容:会社や団体が行う宴会や会議の種類と概要			教科書の該当範囲を読み、 わからない用語を調べる。		
	3	項目:増加が予想される慶事宴会と甲事宴会 内容:慶事宴会と甲事宴会の定義			教科書の該当範囲を読み、 わからない用語を調べる。		
	4	項目:宴会サービスセクションの業務 内容:宴会サービスとは・宴会設営業務と宴会進行業務			教科書の該当範囲を読み、 わからない用語を調べる。		
	5	項目:宴会予約・営業セクションの業務①+小テスト① 内容:宴会予約係の役割と宴会予約の流れ			教科書の該当範囲を読み、 わからない用語を調べる。		
	6	項目:宴会予約・営業セクションの業務① 内容:宴会予約係の役割と宴会予約の流れ			教科書の該当範囲を読み、 わからない用語を調べる。		
	7	項目:宴会顧客情報管理と宴会販売+小テスト② 内容:宴会顧客情報管理の考え方・役割			教科書の該当範囲を読み、 わからない用語を調べる。		
8	正試験対策(宴会理論まとめ)						
評価方法	(1)授業中での小テスト2回実施(2)期末正試験(筆記)(3)受講する上での持参物(スーツ・プリント・教科書等)および意欲(出席回数)以上を下記の観点・割合で評価する。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				40%
	小テスト1回目		◎				20%
	小テスト2回目		◎				20%
	レポート	○	○				10%
持参物および意欲				◎		10%	
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	ホテル英会話 I B						
科目名(英)	English Conversation at Hotels I B						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	佐藤 俊子 / 今長 まゆみ		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	ホテルでのインターンシップに必要な基礎的なスピーキング力を養う。専門用語や決まり文句を学び、ロールプレイ形式で受け答えの練習をする。 またナチュラルな英会話のスピードに慣れるため、フォロイング練習も重ねていく。						
授業形態	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					お客さまのお出迎えから部屋の案内までの英語表現ができる。	
	○					レストランとルームサービスの場面で使用する英語表現ができる。	
	○	○		○		場面に応じて、正しいフレーズや英文を選択し話することができる。	
テキスト・教材 参考図書	日本ホテル教育センター／ホテル英会話 I -基礎編、ホテル英会話 II -応用編 プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Lesson4 Expressing Numbers / Reference Materials			学んだ語句・会話文をノートに書いて覚える。(1時間)		
	2	Lesson4 Expressing Numbers / Reference Materials			該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)		
	3	ホテルの実務英会話 Leeson5 (Doorman)			該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)		
	4	ホテルの実務英会話 Leeson5 (Doorman)			該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)		
	5	ホテルの実務英会話 Lesson6 (Bell Person)			該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)		
	6	ホテルの実務英会話 Lesson6 (Bell Person)			該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)		
	7	ホテルの実務英会話 Lesson7 (Cloakroom Attendant)			該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)		
	8	ホテルの実務英会話 Lesson8 (Front Desk Staff)			該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)		
	9	ホテルの実務英会話 Lesson8 (Front Desk Staff)			該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)		
	10	ホテルの実務英会話 Lesson9 (Housekeeper)			該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)		
	11	ホテルの実務英会話 Lesson9 (Housekeeper)			該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)		
	12	ホテルの実務英会話 Lesson10 (Restaurant Staff)			該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)		
	13	ホテルの実務英会話 Lesson10 (Restaurant Staff) / 後期まとめ			該当箇所を音読練習。重要単語・フレーズをノートに書いて覚える。(1時間)		
	14	筆記テスト			筆記テストで待ちがえた箇所をテキストで確認し、ノートに書いて覚えなおす。(1時間)		
15	会話テスト			これまでに学習した部分の重要箇所を音読し、ノートにまとめる。(1時間)			
評価方法	(1)レポート提出1回 (2)会話テストを1回行う 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート	◎	◎		○		50%
	定期試験(口述)	◎	◎		○		50%
履修上の注意	授業欠課が6回以上になった場合は、定期試験の受験資格を与えない。 テキストを毎回持参する。忘れた場合は、授業前までに該当箇所のコピーを取っておくこと。						

科目名	TOEIC対策 I C						
科目名(英)	TOEIC Test Strategies I C						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	和田 菜穂		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	外資系航空会社にて客室乗務員として勤務		
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科(1年課程) グローバルコミュニケーション科 ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格であるTOEIC700点以上スコア取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。						
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む) ・自分の仕事に関連した日常業務のやりかたについての説明を理解できる。 ・次回ミーティングが、いつ、どこで行われるかについての説明を理解できる。	
	○	○				社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く) ・留守電のメッセージを聞き、相手の用件や電話番号等が聞き取れる。 ・入国管理官に、滞在場所、期間、旅の目的を英語で聞かれた時、質問が理解できる。	
テキスト・教材 参考図書	TOEICテスト完全攻略リーディングVol1、2、メガ模試TOEIC、Listening Box for TOEIC、TOEIC書き込みドリル 文法編650、はじめてのTOEIC模試、Vocabulary for Economics, Management, and International Business他						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	導入、夏休み明け復習テスト			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。		
	2	TOEIC対策 リスニング(OL)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。		
	3	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(品詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。		
	4	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(代名詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。		
	5	TOEIC対策 リスニング(OL)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。		
	6	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(比較)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。		
	7	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(形容詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。		
	8	TOEIC対策 リスニング(OL)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。		
	9	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(副詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。		
	10	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(時制)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。		
	11	TOEIC対策 リスニング(OL)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。		
	12	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(態、コロケーション)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。		
	13	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(不定詞、動名詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。		
	14	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(接続詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。		
	15	定期試験					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)TOEICを学期末に実施する。 評価方法は700点取得で100%、650点取得で95%、550点取得で90%とし以下も取得点数により評価に反映する。 (3)単語テストを20回実施し、評価とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC(IP)	◎	○				30%
	単語テスト	◎	○		○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定2級対策 I C						
科目名(英)	EIKEN Test Strategies I C						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	岡本 彩		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	大学の研究センターにて海外の大学との連携業務(留学、シンポジウム等)		
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科(1年課程) グローバルコミュニケーション科 ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。						
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)	
	○	○				社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。(書く)	
	○	○				事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)	
	○	○				与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)	
テキスト・教材 参考図書	英検過去問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション、英作文、音読、ディクテーション					
	2	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	3	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	4	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	5	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	6	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	7	英検ライティング、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	8	英検ライティング、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	9	英検ライティング、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	10	英検ライティング、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	11	英検模試①				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	12	英検模試②				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	13	英検本試験解説				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	14	試験対策				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
15	試験				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定準2級対策 I C						
科目名(英)	EIKEN Test Strategies I C						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	中山 久豪		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	塾講師、英語講師		
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科(1年課程) グローバルコミュニケーション科 ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会が必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定準2級合格を目指す。						
授業形態	講義:	○	演習:	△	実習:		
					実技:		
					※ 主たる形態:	○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)	
	○	○				社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、60語程度の英文を書くことができる。(書く)	
	○	○				電話や対面の会話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)	
	○	○				与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、短い文章を読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)	
テキスト・教材 参考図書	英語検定準2級過去問						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション					
	2	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	3	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	4	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	5	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	6	英検対策 大問2(会話文の語句空所補充)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	7	英検対策 大問2(会話文の語句空所補充)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	8	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	9	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	10	英検対策 大問4(長文の内容一致選択)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	11	英検模擬試験				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	12	英検模擬試験				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	13	英検本試験解説				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	14	英検本試験解説				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
15	授業内正試験				予習、復習を行って授業に臨むこと。		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点、割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	TOEIC対策 ID					
科目名(英)	TOEIC Test Strategies ID					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	和田 菜穂	
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	外資系航空会社にて客室乗務員として勤務	
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科(1年課程) グローバルコミュニケーション科 ホテル・リゾート科 1年					
授業概要	国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格であるAレベル・TOEIC860点以上のスコア取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。					
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む) ・International Herald Tribune」、「Financial Times」等一般的な国際英字新聞の記事を読んで、大まかに理解できる。 ・会議の議事項目(アジェンダ)を読んで理解できる。
	○	○				社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く) ・ラジオのニュース番組で、最初にアナウンサーが言う主なニュース項目を理解できる。 ・自分の専門分野での発表やプレゼンテーションを聞いて理解できる。
	○	○				社会性のある話題について書くことができる。(書く) ・今後取引先となりそうな相手に対して、自社製品を紹介・売込みのためのEメールやレターを書くことができる。 ・FAX、E-mailでホテルの予約ができる。
	○	○				英語の履歴書を作成することができる。(書く)
テキスト・教材 参考図書	TOEICテスト完全攻略リーディングVol1、2、メガ模試TOEIC、Listening Box for TOEIC、TOEIC書き込みドリル 文法編650、はじめてのTOEIC模試、Vocabulary for Economics, Management, and International Business他					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	TOEIC対策 Part5 & Part6 文法(接続詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。	
	2	TOEIC対策 Part5 & Part6 文法(前置詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。	
	3	TOEIC対策 リスニング(OL)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。	
	4	TOEIC対策 Part5 & Part6 文法(関係詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。	
	5	TOEIC対策 Part5 & Part6 文法(語法)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。	
	6	TOEIC対策 リスニング(OL)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。	
	7	TOEIC対策 Part5 & Part6 文法(語法)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。	
	8	TOEIC対策 Part5 & Part6 文法(語法)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	9	TOEIC直前模擬試験 Q & A			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	10	TOEIC対策 Part7実践問題			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	11	TOEIC対策 Part7実践問題			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	12	TOEIC対策 リスニング(OL)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	13	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	14	TOEIC対策 リスニング(OL)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	15	TOEIC対策 Part7実践問題			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	16	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	17	中間テスト(TOEIC)②				
18	TOEIC対策 Part7実践問題			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。		

	19	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	20	TOEIC対策 リスニング(OL)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	21	TOEIC対策 Part7実践問題	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	22	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	23	TOEIC直前模擬試験 Q&A	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	24	Merry X'mas Entertainment					
	25	Cover letter & Resume	USBを持参すること				
	26	Cover letter & Resume	USBを持参すること				
	27	Cover letter & Resume	USBを持参すること				
	28	Cover letter & Resume	USBを持参すること				
	29	Cover letter & Resume	USBを持参すること				
	30	定期試験対策 学期総括					
評価方法	<p>(1)定期試験(筆記)を実施する。  (2)TOEICを中間(10月)、学期末に実施する。(12月実施)  評価方法は730点取得で100%、650点取得で95%、550点取得で90%とし以下も取得点数により評価に反映する。  (3)単語テストを複数回実施し、評価とする。  以上を下記の観点・割合で評価する。  成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC	◎	○				30%
	単語テスト	◎	○		○		5%
	Cover letter & Resume提出	◎	○				5%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定2級対策 I D					
科目名(英)	EIKEN Test Test Strategies I D					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	岡本 彩	
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	大学の研究センターにて海外の大学との連携業務(留学、シンポジウム等)	
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科(1年課程) グローバルコミュニケーション科 ホテル・リゾート科 1年					
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。					
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)
	○	○				社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。(書く)
	○	○				事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)
	○	○				与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)
テキスト・教材 参考図書	英検過去問題集					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	オリエンテーション、英作文、音読、ディクテーション				
	2	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	3	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	4	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	5	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	6	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	7	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	8	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	9	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	10	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	11	英検二次対策 スピーキング/英検筆記対策(過去問題)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	12	英検二次対策 スピーキング/英検筆記対策(過去問題)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	13	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	14	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	15	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	16	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	17	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	18	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	19	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	20	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	21	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	22	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	23	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
24	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		

	25	英検模試①	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	26	英検模試②	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	27	英検模試解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	英検模試解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	英検模試解説					
	30	後期のまとめ					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定準2級対策 I D					
科目名(英)	EIKEN Test Strategies I D					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	中山 久豪	
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	塾講師、英語講師	
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科(1年課程) グローバルコミュニケーション科 ホテル・リゾート科 1年					
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定準2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。					
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)
	○	○				社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、60語程度の英文を書くことができる。(書く)
	○	○				電話や対面の会話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)
○	○				与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、短い文章を読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)	
テキスト・教材 参考図書	英語検定準2級過去問					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	オリエンテーション				
	2	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	3	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	4	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	5	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	6	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	7	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	8	英検対策 大問2(会話文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	9	英検対策 大問2(会話文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	10	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	11	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	12	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	13	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	14	英検対策 大問4(長文の内容一致選択)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	15	英検対策 大問4(長文の内容一致選択)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	16	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	17	TOEICテスト概要説明 TOEIC Part5			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	18	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	19	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	20	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	21	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
22	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)			予習、復習を行って授業に臨むこと。		

	23	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)					予習、復習を行って授業に臨むこと。
	24	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)					予習、復習を行って授業に臨むこと。
	25	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)					予習、復習を行って授業に臨むこと。
	26	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)					予習、復習を行って授業に臨むこと。
	27	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)					予習、復習を行って授業に臨むこと。
	28	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)					予習、復習を行って授業に臨むこと。
	29	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)					予習、復習を行って授業に臨むこと。
	30	授業まとめ					予習、復習を行って授業に臨むこと。
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点、割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 B					
科目名(英)	General English B					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	中山 久豪	
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	塾講師、英語講師	
対象学科・学年	ホテル・リゾート科(海外インターンシップコース)1年					
授業概要	英語を単語でなく文として理解するためには、品詞と五文型についての知識習得が必要である。英文を作るルール(英文法)の基本となる品詞と五文型を学び、ルールの理解を深める。また、名詞・動詞についての知識を深め、より正確に自身の言いたいことを表現できるようになることを目標とする。					
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				品詞の役割と英文構造を理解し、説明することができる。
	○	○				文型ごとの動詞を使って、文を作ることができる。
	○	○				正しい品詞と文型、また時制を使用し、単文、重文、複文を作ることができる。
	○	○				英語で自己紹介文を書くことができる。
テキスト・教材 参考図書	総合英語プリント					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	プレイスメントテスト 振り返り				
	2	オリエンテーション、品詞と五文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	3	品詞と五文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	4	第一文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	5	第一文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	6	第二文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	7	第二文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	8	第三文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	9	第三文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	10	第四文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	11	第四文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	12	第五文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	13	第五文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	14	五文型まとめ			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	15	名詞と代名詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	16	名詞と代名詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	17	一般動詞とbe動詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	18	一般動詞とbe動詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	19	時制			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	20	時制			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	21	三人称単数現在の動詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	22	三人称単数現在の動詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	23	完了形			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	24	完了形			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
25	助動詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		

	26	助動詞	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと					
	27	態	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと					
	28	態	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと					
	29	自己紹介文 作成	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと					
	30	後期まとめ						
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。 (2) TOEIC (IP) 検定試験を4月、8月に実施する。 評価方法は700点以上取得で100%、650点以上で95%、550点以上で90%とする。それ以下も取得点数により評価に反映する。 (3) 小テストを実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S (90点以上)・A (80点以上)・B (70点以上)・C (60点以上)・D (59点以下)とする。							
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		定期試験	◎	○				60%
		TOEIC (IP) 検定試験	◎	○				20%
		小テスト	◎	○		○		20%
履修上の注意	英単語の品詞がわかる辞書にアクセスできるようにすること。 また、出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。							

科目名	Internship Preparation						
科目名(英)	Internship Preparation						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	一岡 浩己		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	外資系ホテル13年勤務		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科(海外インターンシップコース)1年						
授業概要	海外生活やホテルインターンシップを行うために必要な知識、情報を習得し、英語表現を学ぶ。						
授業形態	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					海外生活で使う日常表現を英語で説明することができる。	
	○					ホテル用語を英語で覚え、話すことができる。	
	○					英文メールを作成することができる。	
	○					英文履歴書を作成することができる。	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業内容説明、導入、英文履歴書準備					
	2	英文履歴書①				授業内容の復習をしておくこと	
	3	英文履歴書②				授業内容の復習をしておくこと	
	4	英語面接練習①				面接での受け答え内容を考えてくること	
	5	英語面接練習②				面接での受け答え内容を考えてくること	
	6	英語面接練習③				面接での受け答え内容を考えてくること	
	7	ニュージーランド地理・文化・歴史①				授業内容の復習をしておくこと	
	8	ニュージーランド地理・文化・歴史②				授業内容の復習をしておくこと	
	9	ニュージーランド地理・文化・歴史③				授業内容の復習をしておくこと	
	10	日常英語表現①				授業内容の復習をしておくこと	
	11	日常英語表現②				授業内容の復習をしておくこと	
	12	日常英語表現③				授業内容の復習をしておくこと	
	13	日常英語表現④				授業内容の復習をしておくこと	
	14	確認テスト				テストの準備をしておくこと	
15	最終渡航準備・総括				発表		
評価方法	(1)確認テストを実施する。(英語・観光関連) (2)英文履歴書の提出を行う。(3)授業全体でのレポート作成・発表を行う。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	◎	○				50%
	提出物				○		30%
	レポート提出・発表				○		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	Internship English						
科目名(英)	Internship English						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	未定		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科(海外インターンシップコース)1年						
授業概要	海外ホテルでのインターンシップに必要な英語を学ぶ。 外国人講師との授業で、ネイティブの英語表現、コミュニケーションに慣れる。						
授業形態	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ホテル用語を英語で説明することができる。	
		○				接客の場面を想定して英語でコミュニケーションが取れるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業内容説明、自由英会話			授業内容の復習をしておくこと		
	2	ハウスキーピングの英語①ベッド			授業内容の復習をしておくこと		
	3	ハウスキーピングの英語②バスルーム			授業内容の復習をしておくこと		
	4	ハウスキーピングの英語③客室備品			授業内容の復習をしておくこと		
	5	ハウスキーピングの英語④デリバリー			授業内容の復習をしておくこと		
	6	レストランの英語①案内業務			授業内容の復習をしておくこと		
	7	レストランの英語②メニュー			授業内容の復習をしておくこと		
	8	レストランの英語③ゲストからのリクエスト			授業内容の復習をしておくこと		
	9	ロビーサービスの英語①お出迎え			授業内容の復習をしておくこと		
	10	ロビーサービスの英語②客室へのご案内			授業内容の復習をしておくこと		
	11	フロントの英語①チェックイン			授業内容の復習をしておくこと		
	12	フロントの英語②販売・営業			授業内容の復習をしておくこと		
	13	フロントの英語③お客様からの苦情			授業内容の復習をしておくこと		
	14	フロントの英語④チェックアウト			授業内容の復習をしておくこと		
	15	確認テスト			確認テストの準備をしておくこと		
評価方法	(1)TEST (2)CLASS(授業態度、参加の度合い、発表に対する積極性) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	TEST	○	◎				50%
	CLASS		○		◎		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	English Conversation I						
科目名(英)	English Conversation I						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	未定		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	1. Raise students' English proficiency 2. Give students more confidence in using English 3. Workplace related English skills						
授業形態	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					Raise students' English proficiency.	
	○	○				Give students more confidence in using English.	
	○					Workplace related English skills.	
テキスト・教材 参考図書	Speak Out Elementary Flexi Course Book1						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Getting to know your teacher			none		
	2	Unit 2.2 High Flyers			Preview lesson materials and review previous lesson		
	3	Unit 2.3 What Time Does It Start?			Preview lesson materials and review previous lesson		
	4	Unit 3.1 Big Happy Families			Preview lesson materials and review previous lesson		
	5	Unit 3.2 Real Friends?			Preview lesson materials and review previous lesson		
	6	Unit 3.3 Are You Free Tonight?			Preview lesson materials and review previous lesson		
	7	Unit 3.4 Diwali Celebrations			Preview lesson materials and review previous lesson		
	8	Unit 3.5 Lookback and review			Preview lesson materials and review previous lesson		
	9	Unit 4.1 A Place to Stay			Preview lesson materials and review previous lesson		
	10	Unit 4.2 Around Town			Preview lesson materials and review previous lesson		
	11	Unit 4.3 Can I help you?			Preview lesson materials and review previous lesson		
	12	Unit 4.4 Favourite Places			Preview lesson materials and review previous lesson		
	13	Unit 5.1 My Fridge			Preview lesson materials and review previous lesson		
	14	Review and practice for speaking test			Preview lesson materials and review previous lesson		
15	Speaking Test			Review previous lesson material			
評価方法	(1)TEST (2)CLASS(授業態度、参加の度合い、発表に対する積極性) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	TEST	○	◎				50%
	CLASS		○		◎		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	韓国語						
科目名(英)	Korean Learning						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	水早 真弓		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科(ホテル・リゾートコース)1年						
授業概要	韓国語の基礎、特にハングルの読み方と発音を正確に学習する。 韓国語は文字が読めないと学習できないため、しっかりと正確な読み方と発音を習得する。 また、簡単な挨拶や会話ができるようになる。						
授業形態	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ハングルの仕組みを理解し、読めるようになる。	
	○					発音変化の仕組みを理解し、的確に読めるようになる。	
		○				挨拶言葉を覚え、簡単な挨拶ができるようになる。	
	○					簡単な会話ができるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	ホテリエ向け「おもてなし外国語会話」、配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	韓国語のしくみの理解「発音してみよう、書いてみよう」①			習った部分を復習する		
	2	韓国語のしくみの理解「発音してみよう、書いてみよう」②			習った部分を復習する		
	3	第1課「どこに行きますか？」 会話文理解&会話練習①			習った部分を復習する		
	4	第1課「どこに行きますか？」 会話練習②&練習問題			習った部分を復習する		
	5	第1課「どこに行きますか？」 練習問題			習った部分を復習する		
	6	小テスト 答え合わせ・解説			習った部分を復習する		
	7	第2課「パンありますか？」 会話文理解&会話練習①			習った部分を復習する		
	8	第2課「パンありますか？」 会話練習②&練習問題			習った部分を復習する		
	9	第2課「パンありますか？」 練習問題			習った部分を復習する		
	10	小テスト 答え合わせ・解説			習った部分を復習する		
	11	第3課「デパートでズボンと靴を買います」 会話文理解&会話練習①			習った部分を復習する		
	12	第3課「デパートでズボンと靴を買います」 会話練習②&練習問題			習った部分を復習する		
	13	第3課「デパートでズボンと靴を買います」 練習問題			習った部分を復習する		
	14	小テスト 答え合わせ・解説			習った部分を復習する		
15	総復習&試験勉強			定期試験の準備をしておくこと			
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。(3)出席状況を意欲点として評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト	◎	○				30%
	意欲点				○		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	ペン字						
科目名(英)	Pen Writing						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	入江 陽子		
実施年度	2023年	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科(ホテル・リゾートコース)1年						
授業概要	ホテルスタッフ・社会人として、日常生活における硬筆書写の一般知識・理解を深め、業務遂行時に実践できる基礎力を習得する。また、正しいペンの持ち方、姿勢を守り、書写することによって集中力を身に付ける。						
授業形態	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					正しい言葉遣いで、自分の履歴書を書くことができる。	
			○			書式に従って、美しい文字で書写することができる。	
			○			正しいペンの持ち方、姿勢で書写することができる。	
				○		集中力を持って取り組むことができる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	実用書① 氏名の書式、ペン字基本 基本点画練習			ボールペンの練習をしておくこと		
	2	ペン字基本 筆順、基本点画			基本点画の復習		
	3	ペン字基本 字形の整え方(字形24体)			筆順の復習		
	4	ペン字基本 平仮名字源、練習、片仮名			字形の復習		
	5	履歴書 履歴書を体裁よく書くコツ			履歴書の必要事項を調べておくこと		
	6	履歴書 履歴書ペン書き、練習			履歴書の下書きを調べておくこと		
	7	履歴書 履歴書清書			履歴書のペン書きをしておくこと		
	8	実用書 年賀状、はがきの書式 のし書き、芳名帳			履歴書の清書を提出できるようにしておくこと 求職票の下書きを書いておくこと		
評価方法	(1)授業の中で清書した履歴書を提出し評価する。(2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	履歴書	○	◎				80%
	小テスト	○	◎				20%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合、単位を与えない。						

科目名	コミュニケーション技法						
科目名(英)	Communication Technique						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	小川 果		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科(ホテル・リゾートコース)1年						
授業概要	コミュニケーションとは何か、より良いコミュニケーションのために大切なことは何かを理解する。 言いたいこと、言うべきことを明確に簡潔に相手に伝えることができるようにする。 言語表現力を高めることにより、セルフエスティームを向上させ、新たな社会で生きていく自信をつける。 社会での自称への関心を深め、自分と社会を関連付けて考えることができるようになる。						
授業形態	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					1対1での対話がきちんとできる。	
	○					自らの意見や考え方、価値観を開示することができる。	
		○				人の話をしっかりと聞き、考え方や価値観の多様性を理解できる。	
		○				ニュースに関心を持ち、社会的存在としての自分に気付くことができる。	
	○				自分とは何か、自分はどんな人間か、より深く考えることができる。		
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	社会とは何か① 社会とは?家庭とは?クラスとは?			授業内容を復習しておくこと		
	2	社会とは何か② 社会とは?家庭とは?クラスとは?			授業内容を復習しておくこと		
	3	何を学ぶか 何を手に入れたいか?コスト意識を持って			授業内容を復習しておくこと		
	4	コミュニケーション(1) マナー、返事、1対1で話す			授業内容を復習しておくこと		
	5	コミュニケーション(2) 聞く、質問する 相手の話を要約する			授業内容を復習しておくこと		
	6	コミュニケーション(3) 聞く、質問する 相手の話を要約する			授業内容を復習しておくこと		
	7	コミュニケーション(4) 実践報告			授業内容を復習しておくこと		
	8	スピーチ(1) 「物」を媒介にして自分を伝える			授業内容を復習しておくこと		
	9	スピーチ(2) 「言葉」を媒介にして自分を伝える			授業内容を復習しておくこと		
	10	スピーチ(3) 「ニュース」を媒介にして自分を伝える			授業内容を復習しておくこと		
	11	自己分析① あなたはどんな人ですか?			授業内容を復習しておくこと		
	12	自己分析② あなたはどんな人ですか?			授業内容を復習しておくこと		
	13	グループディスカッション、社会人となるためのポイント①			授業内容を復習しておくこと		
	14	グループディスカッション、社会人となるためのポイント②			授業内容を復習しておくこと		
15	全体のまとめ			授業内容を復習しておくこと			
評価方法	(1)出席点 (2)平常点(授業態度、参加の度合い、発表に対する積極性) (3)技能点(各課題ごとに評価)以上を下記の観点・割合で評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席点				◎		30%
	平常点		○		◎		30%
	技能点	◎	○				40%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	Word						
科目名(英)	Word						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	未定		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	目標となるサーティファイのWord3級検定試験は幅広い文書作成機能を習得しているだけでなく、文字入力の数も多いので、入力のスキルを上げることも重要である。そのためにWordの内容に入る前にタイプクイックソフトを使ってタッチメソッド(キーボードを見ない文字入力)のトレーニングをする。テキスト「Word2019クイックマスター(基礎編)」を使って一般的なビジネス文書や表の作成方法を学習し、問題集「Word文書処理技能認定試験 3級問題集(2019対応)」を使ってより高度な機能の習得と検定対策を学習する。						
授業形態	講義:	演習:	○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				マウス(パソコンの基本操作)を正しく操作できる。	
			○			キーボードを見ないで文字入力ができる。	
	○					ビジネス文書の社外文書と社内文書の違いを説明することができる。	
		○	○			ビジネス文書作成に必要な文字入力や編集機能を効率的に操作できる。	
	○				Word文書処理技能認定試験3級に合格する。		
テキスト・教材 参考図書	タイプクイック Word2019クイックマスター(基礎編)、Word文書処理技能認定試験 3級問題集(2019対応)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要の説明とパソコンの基本操作					
	2	タイプクイックの設定と操作・Word2019の基本操作				毎日15~20分タイプクイックの練習をする。	
	3	タイプクイック・Word_ローマ字入力				毎日15~20分タイプクイックの練習をする。	
	4	タイプクイック・Word_いろいろな文字入力				毎日15~20分タイプクイックの練習をする。	
	5	タイプクイック・Word_効率的な文字の訂正・Word_文章入力				毎日15~20分タイプクイックの練習をする。	
	6	タイプクイック・長文入力練習				毎日15~20分タイプクイックの練習をする。	
	7	タイプクイック・タイプクイックの成績提出、社内文書作成				毎日15~20分タイプクイックの練習をする。	
	8	Word_社外文書作成・表作成				毎日15~20分タイプクイックの練習をする。	
	9	検定問題集_練習問題1を演習を見ながら実習				練習問題1を仕上げる。	
	10	検定問題集_練習問題2_演習による解説後、各自で実習				練習問題2を仕上げる。	
	11	検定問題集_練習問題3_演習による解説後、各自で実習				練習問題3を仕上げる。	
	12	試験プログラムの使用方法・模擬試験1回目				模擬問題1を仕上げる。	
	13	模擬試験解説・検定問題集_模擬問題2_各自で実習し、不明点を個別対応で解説。				模擬問題2を仕上げる。	
	14	模擬試験2回目					
15	検定対策						
評価方法	(1)授業の中で検定対策として、模擬試験を2回実施する。 (2)テキスト「Word2019クイックマスター」内の入力練習文・ビジネス文書作成の練習問題を70%以上仕上げる。 (3)検定問題集の10問を全て仕上げる。((2)(3)については、授業終了時にメモリに保存して提出、提出期限遵守も評価対象とする) (4)タッチタイプ(キーボードを見ないで入力すること)の習得とタイプクイックの成績を提出。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	◎	○			40%
	上記(2)(3)課題提出	○	○	◎	◎		30%
	提出物評価			◎	◎		30%

**履修上の注意**

出席が10回に満たない場合は、評価Dとする。  
タッチメソッドは継続したトレーニングによって習得できるものなので、毎日15～20分程度の自主トレーニングが必要である。  
操作技能が3級レベルに達しない場合は補講を実施する。

科目名	Excel						
科目名(英)	Excel						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	未定		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	企業で最も使われているソフトの1つであるExcelの操作方法を習得する。Excelは統合型表計算のソフトウェアといわれ、表計算・グラフ作成・データベース機能を持っている。テキスト「Excel®2019クイックマスター(基礎編)」を使ってそれらの機能の基本的な操作方法を習得する。問題集「Excel®表計算処理技能認定試験 3級問題集(2019対応)」を使ってより高度な機能の習得と検定対策の学習をする。また、検定対策の一環として客観的に自分の解答が正しいか判断できるようになるため自己採点を行う。						
授業形態	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				Excelで作成ができる。	
		○				Excelでグラフの作成と編集ができる。	
		○				Excelでデータベース処理(並べ替えや抽出)ができる。	
	○					Excelで使われる正しい用語の説明ができる。	
	○	○				Excel表計算処理技能認定試験3級に合格する。	
テキスト・教材 参考図書	Excel®2019クイックマスター(基礎編) Excel®表計算処理技能認定試験 3級問題集(2019対応)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Excelの概要・データの種類と入力方法					
	2	簡単な表の作成・練習問題			テキスト記載の実習問題		
	3	基本のグラフ作成・練習問題			テキスト記載の実習問題		
	4	表の編集(表の構成・書式設定・罫線)			テキスト記載の実習問題		
	5	セルの書式設定・絶対参照を使う計算・関数(Σから選べる関数)			テキスト記載の実習問題		
	6	いろいろな関数(COUNTA,ROUND類,RANK類,IF)			テキスト記載の実習問題		
	7	スパークライン・グラフ機能			テキスト記載の実習問題		
	8	データベース機能			テキスト記載の実習問題		
	9	検定問題集_練習問題1を演習を見ながら実習			練習問題1を仕上げる。		
	10	検定問題集_練習問題2_演習による解説後、各自で実習			練習問題2を仕上げる。		
	11	検定問題集_練習問題3_演習による解説後、各自で実習			練習問題3を仕上げる。		
	12	試験プログラムの使用方法・模擬試験1回目					
	13	模擬試験解説・質疑・別問題					
	14	模擬試験2回目					
15	検定対策						
評価方法	(1)授業の中で検定対策として模擬試験を2回実施する。 (2)テキスト「Excel®2019クイックマスター(基礎編)」内の実習問題を70%以上仕上げる。 (3)検定問題集の10問を全て仕上げる。((2)(3)については、授業終了時にメモリに保存して提出、提出期限遵守も評価対象とする) (4)問題集の模擬問題について採点表をもとに自己採点しプリントで提出する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	◎	○			40%
	上記(2)(3)課題提出	○	○	◎	◎		30%
	提出物評価			◎	◎		30%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、評価Dとする。 操作技能が3級レベルに達しない場合は補講を実施する。						

科目名	キャリアデザイン I B						
科目名(英)	Career Design IB						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	一岡 浩己 / 小形 享平		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	就職活動の流れや規則をきちんと理解し、就職活動準備を行っていく。また、それに伴い求職票受付面接の準備を行い、求職票受付面接に合格することを目標とする。また、就職活動前の準備として作文課題にも取り組む為、その提出状況も成績評価に加味する。						
授業形態	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					作文課題を完成させ、期日までに提出することができる。	
	○	○	○	○		求職票受付面接の準備に積極的に取り組み、合格することができる。	
テキスト・教材 参考図書	就職活動ガイドブック						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	クラス委員決め、ホテル実習御礼状の作成と発送			御礼状を完成させ、発送すること		
	2	就職活動の流れについて、求職票受付面接について			授業内容を復習しておくこと		
	3	求面の入退室レクチャー、求職票の書き方			求職票の記入を進めること		
	4	自己PR作成(自己分析)			自己PR作成に取り掛かること		
	5	自己PR作成(他己分析)			自己PR作成に取り掛かること		
	6	キャリアプランニング①			キャリアプランを考え書き出すこと		
	7	キャリアプランニング②			キャリアプランを考え書き出すこと		
	8	求職票受付面接対策①			求職票受付面接の準備を進めること		
	9	求職票受付面接対策②			求職票受付面接の準備を進めること		
	10	求職票受付面接対策③			求職票受付面接の準備を進めること		
	11	求職票受付面接対策④			求職票受付面接の準備を進めること		
	12	スーツ・メイク講座、就職用写真撮影			身だしなみを整えた上で参加すること		
	13	求職票受付面接対策⑤			求職票受付面接の準備を進めること		
	14	立食テーブルマナー			テーブルマナー参加後、レポートを作成し提出すること		
15	洋食テーブルマナー、レポート作成			テーブルマナー参加後、レポートを作成し提出すること			
評価方法	(1)ホテル見学やテーブルマナーに参加した際のレポート課題提出 (2)作文課題を実施する。 (3)出席状況を意欲点として評価する。 成績評価基準は、合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート課題提出状況		○		○		40%
	作文課題提出状況		◎				40%
	意欲点				○		20%
履修上の注意	ホテル実習準備の進捗状況によっては、授業回数が増える可能性があります。 検定やイベント等での日程調整により、授業実施項目に変更が出る場合もあります。						

科目名	就職対策						
科目名(英)	Job Hunting Skills						
単位数	2単位	時間数	40時間	担当者	一岡 浩己 / 小形 享平 / 瀧口 恵子		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科(ホテル・リゾートコース)1年						
授業概要	就職活動において必要なノウハウやスキルを学び、就職活動に向けての具体的な準備を行う。また、SPI対策講座を受講することにより、筆記試験への対策準備を行う。						
授業形態	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
						○ 就職活動に必要な情報がどこで手に入れられるかを理解し、自身で活用できるようになる。	
						○ 企業研究の方法を理解し、取り組むことができる。	
						○ 履歴書書きのポイントを理解し、取り組むことができる。	
	○	○				非言語分野問題の解法を理解し、式を立てて解答を導くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	就職活動ガイドブック、配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	就職斡旋規定、書類申請、就職活動フローシート、学生用メールアドレス				授業内容を復習しておくこと	
	2	企業研究、逆質問				授業内容を復習しておくこと	
	3	求人案内、企業研究				授業内容を復習しておくこと	
	4	履歴書の書き方、自己PR				授業内容を復習しておくこと	
	5	求人案内、企業研究、履歴書作成、自己分析				授業内容を復習しておくこと	
	6	志望動機のポイント、情報倫理講習				授業内容を復習しておくこと	
	7	就職活動報告書、英文CV				授業内容を復習しておくこと	
	8	選考対策、作文教室				授業内容を復習しておくこと	
	9	メールや電話のマナー、封筒や応募書類の送付、お礼状やメール文サンプル				授業内容を復習しておくこと	
	10	企業説明会参加				参加報告書を提出すること	
	11	四則演算				授業内容を復習しておくこと	
	12	四則演算				授業内容を復習しておくこと	
	13	速度算				授業内容を復習しておくこと	
	14	速度算				授業内容を復習しておくこと	
	15	仕事算				授業内容を復習しておくこと	
	16	仕事算				授業内容を復習しておくこと	
	17	損益算				授業内容を復習しておくこと	
	18	損益算				授業内容を復習しておくこと	
	19	集合、推論				授業内容を復習しておくこと	
	20	SPI対策講座まとめ				授業内容を復習しておくこと	
評価方法	(1)課題提出状況(2)出席状況を意欲点として評価する 成績評価基準は、合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	提出物				○		50%
意欲点				○		50%	
履修上の注意	就職活動イベント等での日程調整により、授業項目の順番に変更が出る場合や授業回数が増える可能性があります。						

科目名	総合日本語B						
科目名(英)	General Japanese B						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	秋本 佐代子		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年(留学生対象)						
授業概要	中級レベルの日本語学習者を対象に、JLPT N2受験・合格を目指し、苦手分野の強化を図る。とりわけ、言語知識の分野で、読解や聴解の基礎となる文法を中心に、実際の出題形式に近い問題を多数解くことにより、N2レベルの目標である「日常的な場面に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる」レベルへの到達を目指す。						
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					N2レベルの漢字(約1000字)で書かれた語を読むことができる。	
	○	○				前後の文脈に合う語彙(N2レベル)を使うことができる。	
	○	○				ある語や表現を意味的に近い他の語や表現に置き換えることができる。	
	○	○				N2レベルの文法項目を使って、統語的に正しく、意味が通る文章を組み立てることができる。	
○	○				N2レベルで書かれた文章の流れや表現意図に合う文法を選び使うことができる。		
テキスト・教材 参考図書	国書日本語学校 編著 『日本語能力試験20日で合格N2 文字・語彙・文法』 国書刊行会 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	1日目(漢字読み重点)			間違えたところを復習すること。宿題をすること。(1時間)		
	2	2日目(表記重点)			間違えたところを復習すること。宿題をすること。(1時間)		
	3	3日目(語形成重点) / 小テスト			間違えたところを復習すること。宿題をすること。(1時間)		
	4	4日目(文脈規定重点)			間違えたところを復習すること。宿題をすること。(1時間)		
	5	5日目(言い換え重点)			間違えたところを復習すること。宿題をすること。(1時間)		
	6	6日目(用法重点) / 小テスト			間違えたところを復習すること。宿題をすること。(1時間)		
	7	7日目(文脈形式重点)			間違えたところを復習すること。宿題をすること。(1時間)		
	8	8日目(漢字読み・表記重点)			間違えたところを復習すること。宿題をすること。(1時間)		
	9	9日目(語形成・文脈規定重点) / 小テスト			間違えたところを復習すること。宿題をすること。(1時間)		
	10	10日目(言い換え・文法形式重点)			間違えたところを復習すること。宿題をすること。(1時間)		
	11	模擬試験(言語知識)			間違えたところを復習すること。宿題をすること。(1時間)		
	12	11日目(用法重点)			間違えたところを復習すること。宿題をすること。(1時間)		
	13	12日目(分の組み立て重点)			間違えたところを復習すること。宿題をすること。(1時間)		
	14	13日目(文章の文法重点)			間違えたところを復習すること。宿題をすること。(1時間)		
15	筆記テスト			これまで学んだ中から重要ポイントをノートにまとめる。(1時間)			
評価方法	(1)定期試験を1回実施する (2)小テストを3回実施する (3)模擬試験を1回実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				50%
	小テスト	◎	◎				30%
模擬試験	◎	◎				20%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。 問題は前もって解いておく。解答を写真に撮ってTeamsで送ること。 テキストを忘れたときは、事前に友人から借りてコピーを取っておく。						